

関東信越税理士会 長岡支部 長賞

「今年の漢字」に選ばれた理由

長岡市立山古志中学校

三年 小川 大翔

二〇二三年の「今年の漢字」は、「税」という漢字でした。「今年の漢字」は、毎年、京都の清水寺で発表され、その漢字は「日本漢字能力検定協会」がその年の世相を表す漢字一文字を一般から募集し、最も多かった漢字が選ばれます。なぜ、この「税」という漢字が選ばれたのかを考えてみました。「税」という漢字は二〇一四年にも「今年の漢字」に選ばれていて、二度目でした。二〇一四年に「税」という漢字が選ばれた理由は、消費税が引き上げられたからでした。去年、二位に選ばれた「暑」は、地球温暖化などによる夏の平均気温が統計開始以来最高であったからでした。

去年は、「税」に関するさまざまな改正や検討が主に三つ行われていました。

一つ目は、一年を通じて増税の議論が行われたことです。防衛力強化のために必要な財源を賄うため、法人税、所得税、たばこ税の三つの「税」に関する議論が行われました。私たちも、議論が行われる中、増税がされるのではないかと不安を感じました。

二つ目は、所得税、住民税の定額減税が話題にのぼったことです。過去二年間の税収増の還元として、首相から、所得税と住民税の定額減税が実施されました。合わせて行われる低所得者世帯への支援や所得制限の有無など、人々の関心を寄せました。

三つ目は、インボイス制度の導入やふるさと納税などの、多岐にわたる「税」にまつわる話題があったことです。インボイス制度や、ふるさと納税のルールの厳格化、酒税改正、新NISAなどの改正が行われました。

このように、たくさんさんの検討や議論があり、「今年の漢字」に選ばれました。私の趣味がテレビでニュースを見ることで、毎日かかさず見えています。ニュースの中でもたくさん「税」についての話題が取り上げられていて、何度も、議論している様子を目にしました。税金は、私たちが暮らす中で大切なものです。私たちの身近なものだと、小・中学校の授業料や施設の維持をすることなどが無料です。これも、税金がないと無料ではありません。私は、税金があることを意識しながら生活できていません。だから、税金のありがたさや、「税」への関心を深めながら生活を送って行きたいです。